

## SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: つぼみ瓦工業合資会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営者は会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している。また、従業員は自らの使命を理解し、新技術や事業にチャレンジする文化が形成されている。									8	9							17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規定とマニュアルを有し、社内の掲示板にも法令遵守を掲げ全従業員に発信している。また、コンプライアンス研修を実施し啓発も行っている。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として日頃から公正な取引に努め、経営者は全従業員にその重要性を発信している。また、不当な値引き圧力がないか経営者が常にチェックしている。											10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・責任担当役員を任命し、事業活動が社会、環境に及ぼす正と負の影響を把握するようにしている。																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などの侵害排除など知的財産に関する研修会や勉強会を実施している。									8.2 8.3	9									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・研修会を開催するなど、個人情報の管理と情報漏洩防止の徹底に努めている。また、情報漏洩事故に対する具体的な対応策を策定している。																	16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・アンケートの結果や、日頃の顧客の声、苦情等を大切にするため毎朝の朝礼時に社内で共有するなど、ステークホルダーとの対話、コミュニケーションに努めている。																	16 17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・CO2排出量の削減、人権侵害の防止等を含め、日頃から取引先の活動に関心を持ち、対話に努めている。						5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11		13.1					16 17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・各種セミナーに参加したり、専門家に相談し、検討を行っている。									8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5				8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など雇用条件及び職場環境において差別しない体制、運営を徹底している。また、差別やハラスマントに関する研修を実施し、相談できる体制も整えている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・常に高所での作業であるので労働安全衛生講習会や取引先との毎月の定期会や各種安全大会に積極的に参加している。また、取引先や同業者で発生した労災事故情報を共有し現場でKY活動を実践している。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員、嘱託社員、パート社員)の公正な待遇に努めている。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・業務効率化による労働時間の短縮、残業時間の管理など働き方改革の取り組みを進めている。また、有給休暇等の取得奨励を実施し、家事、育児、介護、ボランティア活動等への参加を促している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・総合による熊本市技術専門学院屋根科2年間コースへの若手従業員の技能資格取得の奨励、専門職種に必要な各種資格、講習会等への積極的な参加が必要経費の支援を行っている。また、資格手当等の支給も実施している。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎朝の朝礼時に0災、安全運転、交通事故等への注意喚起と、体操を通じて健康、体調管理に努めている。また、毎年健康診断の経費補助を行っている。			3					8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進、昇格等で人種、性別などの違いによる差別的待遇は行っていない。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・コロナ対策として自動検温、消毒機器の整備、クリアパーテーションの導入、マスク支給等を実施したが、取引先とのzoom、ウェブ会議などを適宜実施している。			3					8	9.1		11	12							

20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●										8	9.1		11	12		
21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。		●					3	4				8	9		12			

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	・有害化学物質は把握し、適切な管理・処理に取り組んでいる。特に屋根材に含まれる石綿対策として石綿作業主任者技能講習や作業者特別教育研修を受講している。			3.9		6.3				11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・太陽光発電システムを導入したり事務所の照明器具をLEDに交換するなど節電に努めている。 【予定】令和4年1月から簡易計算シートによりエネルギー使用量を算出し削減に取り組んでいく。					7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	・太陽光発電システムを導入するなど温室効果ガスの削減に取り組んでいる。 【予定】令和4年1月から簡易計算シートにより温室効果ガス排出量を算出し削減に取り組んでいく。		2.4			7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・事業及び従業員の活動において、廃プラスチックやレジ袋等の使用削減に努めるようしている。また、毎年江津湖の清掃ボランティアに参加し、緑地や水辺の環境整備に努めている。				6.6						14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・再生用紙の利用やペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。また、事業活動における資源利用の削減や、資源の再利用を推進している。						9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・日頃から節水に努めることを従業員に呼びかけるとともに、汚水等の適切な処理を実施している。		2.4		6.1 6.3 6.4 6.6 6.8				11.5		14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・再生用紙の利用や環境に配慮した製品の購入に努めている。また、廃瓦をリサイクル資源として活用する検討を行っている。					9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		1	2			6.4					12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●	・ライオンズクラブの緑化事業に積極的に参加している。また、事業所敷地内駐車場の一部を緑地帯にしている。									11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●	・太陽光発電システムを導入したり、事務所の照明器具をLEDに交換するなど再エネ活用と節電に努めている。				7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●					6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●					6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●	・ヨットクラブの活動を通じて、海洋ゴミや海洋汚染の防止削減活動に参加している。また、日頃からプラスチックの使用削減や環境にやさしい素材の使用に取り組んでいる。									12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●							9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17	

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●	・提供する各種屋根材、製品を施工時に想定される不具合や雨漏りのリスクの洗い出しと対策を実施している(施工チェックリストを作成し記入)。また、提供する施工品質を確保するため施工マニュアルの徹底と工事記録写真の保存を行なうようにしている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行なっている。	●	・ユニバーサルデザインに基づき手すり、スロープを設け、ウォシュレット便座を導入するなど、高齢者や障がい者のみならず誰にもやさしい環境整備に努めている。								9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●	・会社はもとより従業員にも地産地消を推奨している。		2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●	・事業活動を通じて、我が国の伝統建築である木造住宅の普及と屋根瓦で四季を通じてそれぞれの地域の気候や環境、景観にマッチしたやすらぎの住空間づくりを普及・推進している。					7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●	・廃プラスチックを再利用して製造する人工ウッドスターの活用を推進している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●			2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●	・日頃からJCシニアやライオンズクラブ、隊友会、県瓦工業組合の一員としてボランティア活動に積極的に参加している。また、地球緑化活動に寄附とともに従業員にも地域活動への参加を奨励している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●	・ハザードマップの確認はもとより、事業所に防災備蓄(ブルーシート、土嚢等)や防災グッズを常備している。また、屋根専用被災部分養生シートを購入して被災後の応急処置に活用できるようにしている。				4						11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●	・地域にある屋根材等を扱う事業者としての責務を認識し、災害等が発生すれば直ちに地域のレジリエンスパートナーとして活動するようしている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行なっている。	●	【予定】SDGsの県登録応募を契機に令和4年3月までに事業所内研修を開催する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●	・高校生のインターンシップを積極的に受け入れている。また工業高校で出前授業を実施するとともに技能士連合会による技能祭において瓦葺体験コーナーを設け業界の広報にも努めている。				4				8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行なっている。	●	・県の建設業魅力発見フェアのホームページに参画して企業PRに努めている。また、高校生のためのガイダンスフェアへのブース出展等で積極的に活動している。さらに、県出身の任期制自衛隊員の採用にも努めている。				4.4				8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。